

銘の右座

「全てのことを、全力で」



参議院議員

上月 良祐

いつからこう思うようになったのか定かではありません。親の反対を押し切って生まれた子供のために必死に働いていた親の背中を見ていたのが原点だったのかもしれない。はっきり意識するよ

うになったのは、10年あまり前、茨城県庁の総務部長時代です。あまりに深刻な懸案が数多くあり、このままで

はまずい、絶対に一つひとつ片付けねばと強く決意した頃でした。子供の頃から熱中す

ると時間を忘れて集中するタイプ。でも好きなことだけ。ピアノは苦手で、絵画も下手で、よく途中で道草をしていました。でも今では、好きな

りしていると、心も成もしれません。国会議員として働くようになるまで、一体どれほど多くの皆さんにお世話になってきたのでしょうか。

ずっと昔のことでもうお礼を言いたくてもかなわぬ皆さんへの感謝の気持ちも胸に、社会に貢献したい。目の前の全ての課題から逃げずに真面目からぶつかっていきたくて、答えのない問題はない、そう確信しています。

全ての課題から逃げず

真正面からぶつかっていく

ことばかりではなく、嫌なことにも僕に無理やりでもさせた親に感謝したい気持ちでいっぱいです。小さい時から心の幅を拓ける訓練をさせてくれたように感

ような気がするのとは何とも不思議です。身体は鍛えるの外か

僕の友人には、いわゆる「バカな奴」が多いです。自分にさほど自信がなくて、逃げずに真面目からぶつかっていきたくて、答えのない問題はない、そう確信しています。